

## 罾猟研修会に参加

森林センター林業技術研修会 に参加しました。  
「野生獣類捕獲技術について。目指せ、山猟師！」

講師：和田三生 氏

日時：平成 24 年 12 月 12 日（水）10 時～16 時

場所：滋賀県森林センター（野洲市北桜）

出席者：里山倶楽部から影山と藤田

60 人ほどの参加者で大会議室はいっぱい。女性が一人？若い人は数人で高齢者がほとんどか。実際に罾猟をしている人が数人、銃猟はゼロでした。

講師は佐賀県在住。全国を回って普及活動をしており、足くくり罾でイノシシ捕獲 1000 頭を達成とか。銃猟や箱罾猟よりも安全で、求める大きさの獣を獲ることができる、良い肉が取れる。（なんか代わりに宣伝しているようだな。）今は罾を仕掛けた後に毎日見廻る必要はない。携帯にコールが入ったら現地に急行して獲物を仕留めると。

テレビニュースでもよく見る鉄格子の箱のなかに餌をおいて害獣をとるのが箱罾。佐賀県だけでも 6000 個を設置。山と人里の間もワイヤメッシュで張り巡らされているが、被害は収まらない。行政の取り組みは形ばかりというのが演者の意見。形だけ設置して捕獲するつもりがない？箱罾は害獣を捕獲するのに十分でない。

にこやかに話を進める講師の香具師のような口上やり取りで、よくわかる。おもしろい。

有害獣の個体数調整をやり、生息数さえ減らせば害獣避けネットも罾も不要です。やる気になれば個体数は 3 年で減らすことができる。3 年でやりとげなければ実現できない。

猟具の性能も上がり、仕掛けの技術もある。犬もかからぬ、人もかからぬくくり罾がある。目的の大きさの獣を罾にかけることができる。

誰でもできる罾猟。しかし、獲物をとった後の処理、肉を食べるなり処分するなりの技術と文化ができていないとのこと。

京都鯖街道を行くと山はよく手入れされていますねえ。下生えがすっきりしている。人間が？いや、鹿がすっかり食い尽くしているんですよ。増え方は異常です、と講師の言。ここ比叡平でも、場所によっては鹿によって食いつくされています。鹿は増えすぎと言われて 10 年以上、個体数を減らす以外に解決法はないでしょう

動物愛護の声と動物被害を受ける人間。現状は動物愛護ではすまない事態になってしまっていると思います。比叡平でも猿だけではなく鹿や猪などの害が出る時代になりました。捕獲して、できれば肉も食べ、個体数を減らす方向に進まなければならないでしょう

「滋賀県は 30 年遅れている」と言うのが現状を見聞きしての講師の意見でした。

午後は罾のかけ方の実習。なるほど、佐賀県の猟師、演者が 30 年かけて開発したという安全なくくり罾。良くできている。講演で聞いたことも実習でなるほどと納得。

ともかく、好奇心は満足させる講演と実習でした。

帰り道、比叡平の里山で罾猟を鹿駆除に使うことは難しいだろう、と言うのが F さんの感想。二人とも獲物を食べることに興味はあるのですが。

（影山哲男）